



鶏 鳴

けいめい

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

イエスの言葉

『なぜわたしを打つのか』

聖書(ヨハネ福音書18章23節)

牧師 河合裕志

「なぜわたしを打つのか」、これは誰の言葉？ まさかイエスの言葉ではないでしょう。しかしこれはレッキトしたイエスの言葉。イエスはかねがねこんなことを言っていた。『だれかがあなたの右の頬を打つなら、左の頬をも向けなさい』。こんな言葉を知っているものだから、「なぜわたしを打つのか」がイエスの口にしたこととすればとても信じられないことに。

しかしこれは否定しようがない。福音書が伝えているのだから。削除したいけれどそうも行かない。これはどんな状況で発せられたもの？ イエスが捕えられ大祭司から教えについて尋問を受けた。これに対してイエスは、私はこれまで人々に公然と話して来たので教えがどんなものかはその聞いた人々に聞いたらいいでしょう、と返答。

これにアタマに来たのがそばにいた下役の一人、「大祭司に向かって、そんな返事の仕方があるか」と言って、イエスを平手で打った。被告人の分際でたいそうな口をきく、素直に答えればよいものを、話を聞いた者に聞けばよい、と言う、これは許し難いということでピシヤリとやった。

これに対するイエスの反応。『何か悪いことをわたしが言ったのなら、その悪いところを証明しなさい。正しいことを言ったの

なら、なぜわたしを打つのか』。イエスは負けていなかった。このヤローと手を振り上げることはしなかったけれど口は振り上げた。抗議の声を上げた。

これはいいことじゃない？ 人間、口はあるんだから口でモノ申す。不当と思われることがあったら申し立てる。それをただ黙ってじっと耐える、全く抵抗しない、それはよくない。暴力的手段に訴えるのは控えるとしても口ではきちんとNOと言わなければならないだろう。その程度の強さは持ちたいもの。

イエスは確かに無抵抗を教えている。この教えに従ってガンジーもキング牧師も勝った。ただその場合武器こそ持たなかったけれど言論では戦ったのでは？ 相手を傷つけない程度には様々な手段を講じたのでは？ ここがアタマの使いどころ。

イエスは最後に十字架につけられてしまった。なぜわたしを打つのかの折角の抗議も受け入れられなかった。しかしイエスとしては自分の正しさを主張できたのでそれでよかったのかもしれない。とに角イエスには「人の罪が赦されるための十字架」の思いがあったのでそれ以上の抗議はしなかったということ。

集会案内

日曜礼拝：午前10時15分、日曜夕拝：午後6時

子どもの教会：日曜日午前9時

求道者会：日曜日午前9時40分

中高青年会：日曜日礼拝後

お話し会、卓球：水曜日午後1時～7時

お祈り会：水曜日午前6時、午前10時、午後7時